

学校教育目標	夢と希望と自覚をもって果敢に挑戦する生徒の育成
--------	--------------------------------

目指す学校像(ビジョン) 1 全ての教職員が一致協力し、生徒一人ひとりの未来を切り拓く力を引き出し、グローバル化する社会の中で活躍できる人材を育成する学校 2 教育活動のあらゆる場面で規範意識を高めるとともに、生徒の自己指導能力を育成する学校 3 生徒が誇りをもち、活力に満ち溢れ、地域から信頼される学校	育てたい生徒像 1 知識・技能の習得とともに、向上心をもってそれらを活用し、主体的に学び続ける生徒 2 地域や社会で他者と協働して課題に向けて挑戦し、解決できる生徒	求める教師像 1 教育公務員として行動する教師 2 授業改善に積極的に取り組む教師 3 主体的に職務を遂行し、積極的に学校経営に参画する教師
--	---	--

領域	中期経営目標	短期経営目標	項目番号	平成30年度			推進担当		
				目標達成のための具体的方策	評価指標・評価基準				
					努力指標	成果指標			
未来を切り拓く力の養成	自己管理能力を育成し、生徒が主体的に学び続けるとともに大きな夢、高い目標をもって学力の向上を図る。	マイスケジュール帳の活用で自己管理能力を育成し、学ぶ意欲を高め、学習習慣の定着を図る。(マイスケジュールの活用)	1	○生徒に対して、ホームルームや授業、部活動など学校生活のあらゆる場面でマイスケジュール帳の活用を促し、学習習慣を身につけさせる取り組みを通して、生徒の自己管理能力の育成を目指す。 ○生徒それぞれがマイスケジュール帳を工夫して活用できるよう指導・助言し、学びへの意欲を持たせるとともに、生徒の学習時間を伸ばすよう取り組む。	4	マイスケジュール帳を活用して、学習習慣の確立に取組んだ教員が90%以上	4	前年度より学習時間が増加した生徒の割合が80%以上	教育研究
					3	マイスケジュール帳を活用して、学習習慣の確立に取組んだ教員が80%以上	3	前年度より学習時間が増加した生徒の割合が70%以上	
					2	マイスケジュール帳を活用して、学習習慣の確立に取組んだ教員が70%以上	2	前年度より学習時間が増加した生徒の割合が60%以上	
					1	マイスケジュール帳を活用して、学習習慣の確立に取組んだ教員が70%未満	1	前年度より学習時間が増加した生徒の割合が60%未満	
		授業規律を向上させ、課題を明確に持ち、「主体的・対話的で深い学び」になる授業を実践する。(新学習指導要領に基づく、思考力・判断力・表現力の育成で学力の向上を図る)	2	○授業規律向上のための共通認識を持ち、授業改善に取り組む。 ○生徒の学習意欲を高め、生徒が主体的・積極的に学習活動に取り組める授業の構築を目指す、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善に向けた研究・実践に積極的に取り組む。 ○校内の研究授業態勢を充実させ、校外の研究授業・研究会等の視察成果の共有を図る。 ○校内における授業改善に向けた取り組み(研修会等)について研究し、実践する。	4	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を研究・構築し、実践に取り組んだ教員が90%以上	4	「授業をとおして知的刺激を受け、学力がついている」と自己評価している生徒の割合が80%以上	教育研究
					3	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を研究・構築し、実践に取り組んだ教員が80%以上	3	「授業をとおして知的刺激を受け、学力がついている」と自己評価している生徒の割合が70%以上	
					2	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を研究・構築し、実践に取り組んだ教員が70%以上	2	「授業をとおして知的刺激を受け、学力がついている」と自己評価している生徒の割合が60%以上	
					1	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を研究・構築し、実践に取り組んだ教員が70%未満	1	「授業をとおして知的刺激を受け、学力がついている」と自己評価している生徒の割合が60%未満	
	フロンティアクラスを中心とした学力向上をさらに推進するとともに全体の底上げを図る。	3	○低学年時から定期的に進路志望調査および個人面談を行い、生徒に広い視野と高い進路目標を持たせる。また、3年生0学期に第一志望届を提出させることで目標およびその実現に向けた取り組みの内容を明確化させる。 ○マイスケジュールを用いて計画的な学習に取り組ませ、基礎学力の定着を図る。また、平日放課後のBASE UP学習会および長期休業中の補習授業等を通じて進路目標の実現につながる確かな学力の向上を図る。 ○模擬試験では事前事後の学習を充実させるとともに、PDCAサイクルのシートを用いて目標の自己管理を徹底させ有機的な取り組みを行わせる。 ○進路指導部が中心となり進路研修会・進路検討会議等を充実させることで、全教職員が系統的かつ組織的なキャリア教育・進路指導を行い、生徒の進路目標の実現を図る。	4	「生徒が高い進路目標を持つよう取り組んでいる」教員が95%以上	4	国公立大学入試出願者実人数が70名以上	進路指導	
				3	「生徒が高い進路目標を持つよう取り組んでいる」教員が90%以上	3	国公立大学入試出願者実人数が60名以上		
				2	「生徒が高い進路目標を持つよう取り組んでいる」教員が80%以上	2	国公立大学入試出願者実人数が50名以上		
				1	「生徒が高い進路目標を持つよう取り組んでいる」教員が80%未満	1	国公立大学入試出願者実人数が50名未満		
高大接続改革、新学習指導要領に伴う評価方法の見直しを図る。	4	○新学習指導要領への対応を考慮して、教育課程の再編成を行う。 ○生徒の学力向上、進路希望の実現に向けた評価方法の見直しを図る。	4	教育課程の再編成、評価方法の見直しに向けた会議の実施5回以上	4	教育課程の再編成・評価方法の見直しの両方を実施	教務		
			3	教育課程の再編成、評価方法の見直しに向けた会議の実施4回	3	教育課程の再編成・評価方法の見直しの一方を実施、もう一方の骨子確定			
			2	教育課程の再編成、評価方法の見直しに向けた会議の実施3回	2	教育課程の再編成・評価方法の見直しの一方を実施、もう一方の検討実施			
			1	教育課程の再編成、評価方法の見直しに向けた会議の実施3回未満	1	教育課程の再編成・評価方法の見直しの両方を未実施			
<体育コース> 体育コースの教育活動を充実させ、専門知識を生かし、競技力の向上を図る。	5	○関係機関と連携を図り専攻実技授業や集中講義の内容を充実させ、専門的な知識や技能の習得を図り、主体的に取り組む学習意欲の育成に努める。	4	「生徒が主体的に専門的な知識や技能を取得できるように取り組んでいる。」教員が100%	4	全国大会への出場数 50名以上 入賞種目3種目以上	体育コース		
			3	「生徒が主体的に専門的な知識や技能を取得できるように取り組んでいる。」教員が95%以上	3	全国大会への出場数 40名以上 入賞種目2種目			
			2	「生徒が主体的に専門的な知識や技能を取得できるように取り組んでいる。」教員が90%以上	2	全国大会への出場数 20名以上 入賞種目1種目			
			1	「生徒が主体的に専門的な知識や技能を取得できるように取り組んでいる。」教員が90%未満	1	全国大会への出場数 20名未満 入賞種目0			

領域	中期経営目標	短期経営目標	項目番号	平成30年度				推進担当
				目標達成のための 具体的方策	評価指標・評価基準			
					努力指標	成果指標		
豊かな 人間性の 育成	自己指導能力を 育成し、規範意 識の向上を図 る。	登下校時の安全確保のため、交通ルールを守るとともにマナーアップを図る	6	○警察署と連携した講習会や下校指導旬間への参加を実施し、地域と連携した交通安全（自転車のマナー）に関わる教育の充実を図る。 ○副担任と連携を図り定期考査中等（年間20回）下校指導を実施し自転車の運転にによる事故を防止する。	4 登下校指導（交通マナー）の年間実施回数30回以上 3 登下校指導（交通マナー）の年間実施回数25回以上 2 登下校指導（交通マナー）の年間実施回数20回以上 1 登下校指導（交通マナー）の年間実施回数20回未満	4 交通マナー違反年間件数が10件未満 3 交通マナー違反年間件数が15件未満 2 交通マナー違反年間件数が20件未満 1 交通マナー違反年間件数が20件以上	生徒指導	
		生徒会活動・部活動等、生徒主体の活動を推進し、自己肯定感を高める取り組みを指導する。	7	○生徒会活動を活性化させるために理事会の定例化、効率化を図り、主体性・計画性をもって活動に取り組ませる。 ○部活動部長会を学期に一回以上開催し、目指す部活動像を生徒に意識させ、目標をもって部活動に取り組ませる。	4 全ての委員会、部長会実施を年間4回以上 3 全ての委員会、部長会実施を年間3回以上 2 全ての委員会、部長会実施を年間2回以上 1 全ての委員会、部長会実施を年間2回未満	4 生徒会理事の各委員会の活性化、各部年間活動目標の達成度70%以上 3 生徒会理事の各委員会の活性化、各部年間活動目標の達成度60%以上 2 生徒会理事の各委員会の活性化、各部年間活動目標の達成度50%以上 1 生徒会理事の各委員会の活性化、各部年間活動目標の達成度50%未満	生徒会	
		生徒理解に努め、日々の教育相談を充実させる。	8	相談しやすい環境をつくるために定期的にクラス・クラブで呼びかけ、個人面談を行う。またその内容を把握するため定期的にアンケートを実施する。	4 クラス・クラブで呼びかけ、個人面談3回、アンケートを実施した回数が2回以上 3 クラス・クラブで呼びかけ、個人面談2回、アンケートを実施した回数が2回以上 2 クラス・クラブで呼びかけ、個人面談1回、アンケートを実施した回数が1回以上 1 クラス・クラブで呼びかけたが、個人面談、アンケートを未実施	4 アンケートにおいて「悩みを話せる先生がいて話しやすい環境だと感じる」と答えた生徒がの割合が80% 3 アンケートにおいて「悩みを話せる先生がいて話しやすい環境だと感じる」と答えた生徒がの割合が70% 2 アンケートにおいて「悩みを話せる先生がいて話しやすい環境だと感じる」と答えた生徒がの割合が60% 1 アンケートにおいて「悩みを話せる先生がいて話しやすい環境だと感じる」と答えた生徒がの割合が50%	保健厚生	
		日々の清掃活動を徹底する。	9	①清掃するのは当たり前という意識と清掃後の清潔感を向上させる ②定期的に清美委員会を開催し清掃重点ポイントの目標を設定する	4 清掃監督について生徒と共に清掃活動に取り組み、清潔感を感じる教員が90%以上 3 清掃監督について生徒と共に清掃活動に取り組み、清潔感を感じる教員が70%以上 2 清掃監督について生徒と共に清掃活動に取り組み、清潔感を感じる教員が60%以上 1 清掃監督について生徒と共に清掃活動に取り組み、清潔感を感じる教員が60%未満	4 清掃がしっかり出来て清潔感があると感じている生徒が90%以上 3 清掃がしっかり出来て清潔感があると感じている生徒が70%以上 2 清掃がしっかり出来て清潔感があると感じている生徒が60%以上 1 清掃がしっかり出来て清潔感があると感じている生徒が60%未満	保健厚生	
		本校の教育活動を発信し、中学生の進学意欲を高め、保護者・地域からの信頼を深める。	10	受験生のニーズにも対応したタイムリーな情報を定期的にホームページに掲載し、保護者・地域等からのアクセス数を上げる。	4 ホームページの年間更新回数が100回以上、	4 ホームページは充実していると感じている保護者が80%以上	総務企画	
					3 ホームページの年間更新回数が90回以上	3 ホームページは充実していると感じている保護者が70%以上		
					2 ホームページの年間更新回数が80回以上	2 ホームページは充実していると感じている保護者が60%以上		
					1 ホームページの年間更新回数が80回未満	1 ホームページは充実していると感じている保護者が60%未満		
		地域交流・ 地域貢献	身近な地域や社会と連携を図り、本校教育活動への理解や関心を高めるとともに地域に信頼される魅力ある学校づくりを推進する。	短期経営目標	項目番号	平成30年度		推進担当
				〈体育コース〉 スポーツを通して、小・中・高連携を積極的に推進し、地域や社会に貢献するとともに、指導者としての資質を養う。	11	小・中・地域と積極的に連携を図り、交流を深める場を設定する。	○近隣小学校の水泳指導 ○安佐南区スポーツセンター主催による水泳指導（水泳教室） ○市民との合同チームによる駅伝大会の参加 ○中高合同バレーボール練習会の開催 ○中学生へのサッカー指導 ○小学生～一般との剣道交流 ○小中学生との柔道交流	体育コース
				スポーツ、文化・芸術、ボランティア活動等を通して、小・中・高連携を積極的に推進し、地域や社会に貢献する。	12	小・中・地域と積極的に連携を図り、交流を深める場を設定して、地域の文化活動をリードする存在としての活動を実践する。	○吹奏楽部による学校や地域での演奏活動・行事への参加 ○生徒会主催の「クリスマスチャリティコンサート」の開催 ○生徒会による公民館等での子供会活動への参加 ○演劇部による弁護士会との合同人権劇の上演・介護老人保健施設への訪問交流活動 ○「十六の会」「ふるさとまつり」での美術部、書道部による文化活動 ○近隣中学校出張授業 ○献血活動 ○地域見守り活動や清掃活動 ○小学生へのかけっこ指導	生徒会 総務企画 保健厚生

<最重点目標（上記項目番号1・2）とした理由>
本校生徒は考査週間には学習に取り組むが、それ以外の期間に毎日継続して取り組むことができない実態がある。また、小中学校が連携して学習習慣の確立に取り組んでいる中、気づき、考え、行動できる生徒を育成するために、「My Schedule」の手帳を活用し、時間管理能力を育成するとともに学習習慣を確立させる。また、教師は、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニングの視点）からの授業改善を図り、生徒の思考力・判断力・表現力を育成することが最重点課題である。（項目番号5・6：重点目標）